

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金  
那珂川町活性化計画 改善計画書

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
栃木県	那珂川町・栃木県	那珂川町地区	H20～21	H20～21
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
総合鳥獣被害防止施設	イノシシ肉加工施設 1棟		那珂川町	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B/A	備考
地域産物の販売額	0.20%	-10.02%	-5010.00%	

(記入例) 交流人口の増加の場合

目標値 A = (目標値/現状値) × 100-100、実績値 B = (実績値/現状値) × 100-100

2 目標が達成されなかった要因

平成 23 年に発生した東京電力福島第一・第二原子力発電所の事故の影響により、これまで直売所における売上の大部分を占めていた農林産物の一部の出荷制限が継続されている。その影響により、直売所の売上低下のみならず、事業計画当初 9 か所あった直売所のうち、2ヶ所が廃止または休止に追い込まれ、地区内全体の売上額を伸ばすのは難しい状況が続いている。また、利用者数が地区内で最も多い「道の駅ばとう」が平成 26 年 4 月の火災により約 1 年間営業を大幅に縮小せざるを得ない状況となり、年度の売上げ実績を大幅に低下させ、これも目標達成出来なかった大きな要因の 1 つとなった。

一方、イノシシ肉の販売は、全頭検査を実施し、安全性を確認したものを販売するとともにイベント等で安全性を PR することにより、平成 25 年以降は販売実績を増加させているが、震災発生前年度の販売額に回復することができずにいる。

3 目標達成に向けた方策

目標達成予定年度	平成 30 年度
事業の推進体制	町・農産物直売所連絡協議会・農協・観光協会等の連携により推進
具体的取組方策	農産物直売所の売上額向上のため、下記の取り組みを推進。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産加工品の増加</li> <li>・イベント開催の回数を増加</li> <li>・県内外のイベントへの参加</li> <li>・農協や観光協会との連携による知名度・集客力の向上</li> <li>・山菜やきのこ類に代わる主力の農産物を検討、販売</li> <li>・イノシシ加工施設の人員増加及び受入体制の強化による販売向上</li> </ul>

4 改善計画に対する第三者の意見

町内の農産物直売所開設から 30 年が経過し、生産者の高齢化が目立ってきている。しかし、近年、県内外からの新規就農者も町内に定住するようになり、農産物の生産から販売まで行う六次産業を行う生産者も出てきている。今後、直売所、町、農協や観光協会と連携が密となっていくことで、生産販売目標の達成が期待できる。